

# 令和2年度 学校経営計画書

岡山県立西備支援学校

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

- ・ 「知的障害教育」と「肢体不自由教育」の専門性のある特別支援学校として、多様な教育的ニーズのある児童生徒に対して幅広い教育活動を展開する。
- ・ 児童生徒の卒業後の充実した人生を目指し、自立と社会参加の促進を図り、共生社会の実現を目指す。
- ・ 県南西部地域における特別支援教育等のセンター的役割を果たす。

## ○内外の環境分析

### 【内部環境】

- ・ 県西部の特別支援学校のため、地域の小・中学校の教職員との人事交流が多い。年齢構成では50歳代が最も多い。また、近年新規採用者の増加により20歳代の教職員も増えてきており、実践を積み上げることが困難である。そのため組織的にOJTに取り組み一定の効果을上げている。
- ・ 専門性のある教職員がおり、充実した校内研修も実施できつつある。しかし、更なる専門性や授業力の向上に向けて、効果的な研修が求められている。また、聴覚に障害がある児童生徒が7名、視覚に障害がある児童生徒が2名在籍しているため、ニーズに合った指導支援の専門性の向上が望まれる。
- ・ 肢体不自由部門の児童生徒数は減少している反面、知的障害部門の児童生徒数は増加している。特に小学部は、4年前の約2倍の児童数になっている。そのため、今後、施設設備面で普通教室の不足が心配される。教育活動においては、肢体不自由部門と知的障害部門の卒業後を見通した効果的な教育を推進するために、学部間相互の連携ができ始めている。また、より学習効果をあげるための教育課程の検討し実践を始めている。

### 【外部環境】

- ・ 自立支援協議会等の行政の再編が行われ、保健、福祉関係とのネットワークが再構築されている。これを機に、より地域とのスムーズな連携ができるような関係作りが望まれる。
- ・ 地域の公民館や老人会、ボランティア等の各種の地域団体との交流やサポート体制が充実している。
- ・ 立地条件により、公共交通機関の利用に制約は受けているが、積極的に校外での活動を行っている。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- 1 児童生徒一人一人の持てる力を最大限に引き出す学校
- 2 教職員が専門性を高め、特別支援教育のセンター的役割を果たす学校
- 3 保護者や地域住民の信頼や期待に応える地域に開かれた学校づくりを進める学校

今年度の取り組みの重点

『卒業後も伸びゆく力の育成』を目指して  
～ 一貫性のある教育と地域連携の推進 ～

1、キャリア教育の視点に立った指導・支援

- ・ 継続性・一貫性のある教育活動の推進を図り、早期から個に応じた適切な支援を行う。

- ① 小・中・高及び卒業後を見通した指導体制の構築  
(各部・部門の新たな連携、教育課程、指導計画、支援のあり方 等)
- ② 個別の教育支援計画・指導計画の活用
- ③ 技能検定の推進

【教務、研究／各教科・領域等、自立活動、進路指導】

2、授業力・専門性の向上

- ・ 日々の授業実践等を通して、個に応じた指導の工夫・改善及び授業力の向上を目指す。

- ① 「分かる」授業づくりの推進 (校内研究のテーマに基づいた授業づくり)
- ② 西備 OJT チームによる双方の学び合い
- ③ 多様な障害に対応できる専門性や指導力の向上 (外部人材の活用 等)

【研究、研修、自立活動、各教科・領域等、教科書、初任研・経年研修、教育支援】

3、安心安全な学校づくり

- ・ 児童生徒が心身ともに健康で安全安心な生活を送るための教育の推進と環境の充実を図る。

- ① 防災意識の向上 (防災教育の充実 等)
- ② 健康に係る取り組みの強化 (医療的ケア、食物アレルギー 等)
- ③ 安心安全な学校づくりのための実践 (人権や情報モラル教育、施設設備の整備、防災対策・危機管理マニュアルの見直し、SB の安全な運行 等)

【生徒指導、人権教育、健康教育、食育、安全教育、視聴覚・情報教育、SB、標準服】

4、地域連携とセンター的機能の充実

- ・ 地域の人々の理解と連携を図り、社会のつながりの中で児童生徒を育てる
- ・ 情報提供、研修会等により、地域の学校や事業所等のニーズに応じた支援の推進を行う。

- ① 交流及び共同学習の推進
- ② 地域のネットワークの構築・地域力の活用  
コミュニティー・スクールの設置準備 (校外での活動、ボランティア 等)
- ③ 情報発信 (連携会議、ホームページ 等)

【地域連携・交流および共同学習、広報・掲示、教育支援、進路指導、運動会、せいび祭】

5、学校運営組織の活性化

- ・ ゆとりを生み出し、子どもたちと向き合う時間を増やす。

- ① 校務の共有化・効率化等による業務の「スリム化」・「見える化」の取組の推進
- ② 環境整備による業務の効率化

【教務、学籍・諸帳簿、環境美化 等】

